平成３０年度　東北地方ダム管理フォローアップ委員会（第１回）

議　事　概　要

開催日時：平成 30 年 12 月 25 日
開催場所：仙台合同庁舎　Ｂ棟　大会議室

議題：（１）御所ダム定期報告（案）
指摘事項

●現況の洪水調節計画は、ダムが造られる前の水文データに基づいて作成されている。
管理開始以降３６年間の水文データに基づく確認はもちろん、特に集中豪雨の頻度が増えていることも踏まえ、今後の洪水調節計画を検討していくべきである。
●洪水調節の対応事例についてダム間での知識の共有が重要で、管理の効率化につながる。
●大腸菌については工場排水が原因とのことだが、浄化槽設置等の対策や、その維持管理に注目すべきである。
●生物は重要種を中心にまとめられているが、多様性が維持されているかどうかの評価ができればよい。

議題：（２）胆沢ダム定期報告（案）
指摘事項

●上流域には生活者がいないのに大腸菌群数の数値がそれほど低くないので、その原因を検討しておくこと。
●現状ではダム湖で特定外来生物の魚類が確認されていないが、他ダムでコクチバスが入っている例もあり、今後の釣り人の動向と合わせて注意のこと。
●ダム湖の水位変動域におけるイタチハギ等の植物外来種の生育状況について注視すること。

議題：（３）胆沢ダム事後評価（案）
指摘事項

●事業評価に関し、了承する。

以上